


 いわき市立総合磐城共立病院

# 地域医療連携室だより

## 新病院の建設に向けて

 いわき市立総合磐城共立病院事務局  
 病院建設室長 渡辺 伸一郎

### ○はじめに

本年4月1日付けで、院内に新設された「病院建設室」に配属となりました。病院勤務は2年ぶり2回目、通算3年目となります。まだまだ不慣れではありますが、よろしくお願いたします。

以前の病院勤務の際は、市立病院改革プロジェクトチームとして、院内外の多くの関係者のご意見をいただきながら、「いわき市市立病院改革プラン」の策定に取り組み、また、着任2年目には、経営企画課内の病院再編推進室長として、「旧市立常磐病院」の民間譲渡に取り組みました。

特に、常磐病院の民間譲渡にあたりましては、限られた短い時間の中で様々な紆余曲折を経験し、最終最後の閉院式の際に涙を流す常磐病院職員の方々の姿を見るうちに、私自身も、達成感というよりか、惜別の想いから涙が止まらなかったことが思い出されます。



左から、浜井事務主任 芳賀室長補佐  
 渡辺室長 渡辺技術主任

### ○夢を現実に

このたび、本誌「第22号地域医療連携室だより」の発行にあたり、標記題名の原稿依頼をいただきましたが、つい数年前までは、新病院の建設は遥か将来の夢のまた夢であったように思います。言うなれば、先の市立病院改革プランの中で「新病院の建設」を長期的目標に掲げたことを受け、本年3月に策定した「いわき市新病院基本構想」が最初の本格的な検討成果ということになります。

私は、ようやく始動した新病院建設の流れを止めることなく、むしろ速度を上げながら着実に事業を前進させていくことが課せられた使命だと考えており、1日も早い夢の具現化に、為せば成るという強い思いで取り組んでいきたいと考えております。

### ○新病院の方向性

共立病院の主要な施設は、昭和40年代以降、診療機能の拡充に合わせて、繰り返し増改築を行ってきた経過があり、近年、施設の老朽化対策や分散された施設配置の解消が大きな課題となっています。また、このたびの東日本大震災の経験から、災害に強い病院としていくことが大変重要な課題となっています。

これらの課題に対応し、市民の皆様には良質な医療を将来にわたり安定的に提供していけるよう、単なるハコモノ整備ということではなく、「魂」を入れること、つまり、ハード（施設の更新）とソフト（医療の充実）を両輪として進めていきたいと考えております。（新病院基本構想は、市ホームページでご覧になれます。）


**【いわき市立総合磐城共立病院 地域医療連携室】**

 電話 0246 (26) 2250 (直通) FAX 0246 (26) 2119  
 URL <http://www.iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp>  
 E-mail [kyoritsu@iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp](mailto:kyoritsu@iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp)




## ○病院建設の大まかな流れ

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降			
検討段階	基本構想 懇談会 提言		基本計画	基本設計	実施設計	建設工事	開院
主な検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新病院の役割と機能</li> <li>○新病院の規模</li> <li>○新病院の事業費と財源</li> <li>○新病院の立地場所</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○開院までの全体スケジュールの作成</li> <li>○設計の基礎となる検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶部門ごとの運営計画（各部門の方針や機能など）</li> <li>▶施設・機器等整備計画（院内施設配置や大型機器の台数など）</li> <li>▶事業計画（開院後の事業収支など）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○院内の全体レイアウト</li> <li>○運用面、施設面の課題への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本設計を基に使う材料や仕上げ、施工方法等の詳細について検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施設計に基づき、各種工事を実行</li> </ul>	

## ○これまでの主な取り組み（平成24年4月～5月末）

- ▶ 4月1日 病院建設室の設置
- ▶ 4月17日 新病院建設検討委員会の設置（5月末までに3回開催）
- ▶ 4月25日 院内説明会の開催
- ▶ 4月26日 住民等説明会の開催
- ▶ 4月27日 いわき市新病院づくり応援基金の積み立て
- ▶ 5月1日 広報いわき5月号への特集記事掲載
- ▶ 5月10日 内郷地区行政嘱託員（行政区長）連絡協議会に対する説明
- ▶ 5月16日 先行事例の調査
- ▶ 5月22日 新病院作業部会の設置（5月末までに1回開催）
- ▶ 5月23日 職員向け情報コーナーの設置
- ▶ 5月30日 内郷まちづくり市民会議に対する説明



（新病院建設検討委員会）  
各部門の長で構成



（新病院作業部会）  
中堅・若手職員で構成

## ○おわりに

今後、共立病院が、市民の皆様に良質な医療を将来にわたり安定的に提供していけるよう、地域の中核となる病院づくり、最後の砦となる病院づくりに取り組んで参りますので、市民の皆様をはじめ、地域の医療関係者の方々のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

取り組みの経過につきましては、市ホームページで適時公開しておりますので、お問い合わせ等がありましたら、お気軽にご連絡をいただければと思います。



# 本院の認定看護師紹介



副院長兼看護部長 坂元 和子  
(認定看護管理者)

日頃より、本院地域医療連携室をご利用いただきありがとうございます。本院看護部では、連携室に看護師を配置して7年になります。登録医療機関の皆様のご要望に応えられるよう検討を重ね、平成23年度紹介率66.1%、逆紹介率50.6%となり、地域医療支援病院の役割を果たしてまいりました。今後とも、登録医療機関の皆様との相互理解を深め、「患者さんにとってより良い連携」が図れるよう努力してまいります。ご指導・ご協力よろしくお願いたします。

さて、今回は本院看護部の認定看護師を紹介させていただきます。県外の同規模病院と比較致しますと認定看護師の養成開始が遅れましたが、2004年より計画的に養成に取り組んでおります。現在9名の認定看護師が、専門知識をチーム医療に活かし組織横断的に活動しております。

## 1. 認定看護師とは

日本看護協会認定看護師審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者をいいます。

## 2. 認定看護師の役割

看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献します。

## 3. 本院認定看護師と配属部署について

救急看護認定看護師	2名：救命救急センター・ICU 配属
感染管理認定看護師	1名：医療安全管理室配属
皮膚・排泄ケア認定看護師	1名：医療安全管理室配属
緩和ケア認定看護師	1名：外来配属
がん化学療法認定看護師	1名：外来化学療法室配属
集中ケア認定看護師	1名：ICU 配属
新生児集中看護認定看護師	1名：NICU 配属
認定看護管理者	1名：看護部長室
認知症認定看護師	1名：現在研修中

## 4. 認定看護師の活動

- (1) 看護部業務基準に、各認定看護師の職務「使命」「目的」「責務」「役割」と活動内容を明示、看護職員に周知し活動開始
- (2) 認定看護師会を年3回開催、情報交換や問題点を検討し活動を推進
- (3) 院内研修講師のほか、認定看護師講座を開催
- (4) 院外講師

## 5. 認定看護師紹介

今回は、先ず感染管理認定看護師・皮膚・排泄ケア認定看護師を紹介します。それぞれの認定看護師が自己紹介致します。

## 6. おわりに

認定看護師教育は6ヶ月以上の長期研修であり、連続した研修の中で他医療機関の実習を含み、専門的知識・技術の習得だけでなく、プレゼンテーション能力、文章作成能力、調査分析方法、コミュニケーション能力などと研修内容は多岐に亘ります。認定看護師としての活動内容から、学びの深さを感じています。

看護管理者として認定看護師が「現場からのコールに直ぐ対応できる体制づくり」を心がけています。また、認定看護師には「何か私にできることはないですか」の姿勢を大事に活動してもらっています。認定看護師の活動により、医療・看護の質が向上していることを実感しとても心強く思っています。

地域の医療機関からの依頼があれば、研修や実技指導などに出向くことも活動です。ご連絡いただければ対応いたします。



## 感染管理認定看護師

林 靖子



感染管理認定看護師の林です。平成 21 年にこの認定を取得し、平成 22 年 4 月より医療安全管理室の専属で従事しております。

感染管理認定看護師として、次のようなことを行っています。

- 1 最新の知識による感染管理の実践や評価、また、その相談や調整。
- 2 感染管理分野の関係者への指導・相談や感染防止に関する問題についてのコンサルテーション。
- 3 研究的視点での感染管理実践の評価や、最新知識や技術の習得のための学会や研修への参加。

### ■院内活動としては

- ・ICTラウンド（感染防止のための院内巡視）の実施
- ・院内感染対策委員会の実施
- ・看護部感染対策委員会・小部会の活動
- ・院内感染講演会を年 2 回開催
- ・新規採用者や研修医に対して、感染管理の講義
- ・認定看護師講座（写真）

### ■院外活動としては

- ・他施設において、院内感染研修や看護補助者研修などでの講義の実施
- ・東北感染制御ネットワークベストプラクティス部会でのアドバイザー業務（喀痰吸引手技やおむつ交換等の手順書作成）
- ・福島県認定看護師交流会における各分野の認定看護師による年 1 回の活動報告

等を行っています。

いつも感染管理活動にご協力いただき感謝しています。今後も院内外でさまざまな活動をしていきますのでよろしくお願ひ致します。



ノロウィルスの吐物処理の様子

## 皮膚排泄ケア認定看護師

國井 久美子



皮膚排泄ケア認定看護師は、以前WOCと呼ばれていた分野で、創傷（褥瘡・瘻孔・慢性潰瘍など）・ストーマ（人工肛門・人工膀胱）・失禁の3領域のケアの実践・相談・指導を専門とする看護師です。

院内では、医療安全管理室に所属し、褥瘡対策の専従看護師として組織横断的に活動をしています。

### ■褥瘡ケア

褥瘡管理者として、多職種で構成されているNST褥瘡対策チームメンバーや各病棟で実践的リーダーとなるリンクナース（NST褥瘡対策小部員）と協働しながら総合的な褥瘡対策を行い、褥瘡予防・管理・治癒促進ケアに取り組んでいます。

### ■ストーマケア

入院前～手術前後～退院後の社会復帰を通じて、医師や病棟看護師と連携して、精神的サポートやケア方法の指導などを行い、ストーマ造設者とご家族を支援しています。

### ■失禁ケア

便や尿失禁によっておこる皮膚障害の予防・治療ケアを病棟スタッフと共に行っています。

また、看護学院や院内教育に講師として携わり、科学的根拠と実践的な看護ケアを伝えています。

### ■院外活動

院外では、福島県やいわき市のオストミー協会（ストーマ造設者患者会）活動の協力や、いわき市の褥瘡ケアの向上と地域連携の強化を目的に設立された「いわき褥瘡ケアネットワーク」の副代表世話人兼事務局の活動を行っています。

相談は患者や家族、看護師・医師・他部門、他施設など多岐に渡り、自身の役割や責任の大きさを感じています。皮膚・排泄ケア分野の看護の質の向上のために、「患者さんやご家族が望んでいることは何か」を考えケアを行うことを大切に活動しています。



NST 褥瘡対策チームメンバー



# こんにちは

## 栄養給食室です

専門栄養技師 都 澤 京 子



栄養給食室では、管理栄養士6名と給食業務を受託している日清医療食品のスタッフ約50名で業務を行っています。入院患者さんへの食事提供・栄養管理、NST（栄養サポートチーム）・褥瘡対策チームへの参加、緩和ケア回診や摂食回診への参加、栄養食事指導が主な業務です。

### ●入院患者さんへの食事提供

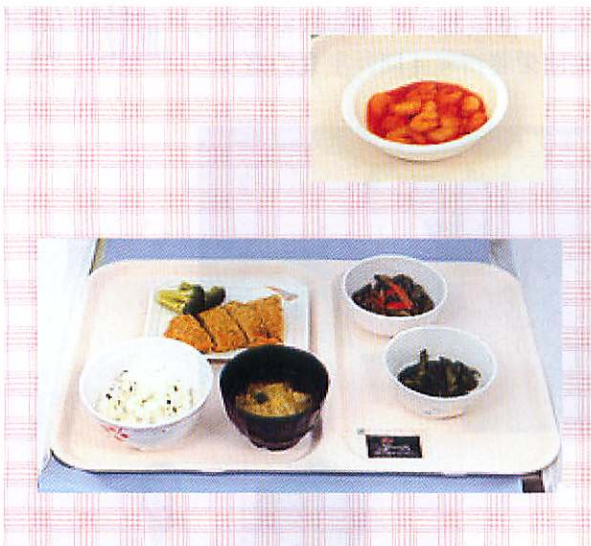
食事時間は、朝食7時30分、昼食12時、夕食18時となっています。幼児・小児食と分割食のおやつは10時、15時に配膳されます。

入院中の患者さんのお食事は、担当医が年齢、身長、体重などにより、それぞれに合った食事内容を決めます。病態に応じた治療食約90種類を用意しています。

また、月2回の行事食、常食の患者さんへの選択メニュー、ご出産された患者さんへのお祝い膳を提供しています。



#### < 主菜が選べる選択メニュー >



#### < 産科お祝い膳 >



### ●入院患者さんの栄養管理

入院診療計画書にて、担当医が「特別な栄養管理の必要性あり」と認めた患者さんに対し、管理栄養士が栄養管理計画を作成します。身長や体重、血液検査の値やお食事の摂取量などから把握し、エネルギーや栄養素の補給、食事の量や形態が適切なものとなるよう計画書を作成します。



### ●チーム医療の一員として

－NST（栄養サポートチーム）・褥瘡対策チームへの参加－

医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士がチームになって、栄養状態にリスクのある患者さんに対し、改善プランを提供、適切な栄養投与（経口栄養、経腸栄養、静脈栄養）を行い、栄養状態を改善することを目的に活動しています。

当院は、NST教育施設に認定されており、年1回NST実地修練を実施しております。

その他、回復期リハビリテーション病棟での摂食回診、緩和ケアチームの回診にも参加しています。



◇NSTディレクターは  
栄養給食委員会委員長 橋本明彦医師

### ●栄養食事指導（個別・集団）

#### ◇個別栄養食事指導

入院および外来の患者さんを対象に、医師の指示のもと、管理栄養士が食事に関する相談、アドバイスを行っています。糖尿病、脂質異常症、肥満、脂肪肝、腎臓病、高血圧などの内容です。所要時間は20から30分程度。予約制ですが、随時受け付けておりますので、希望される方は担当医にお申し出ください。

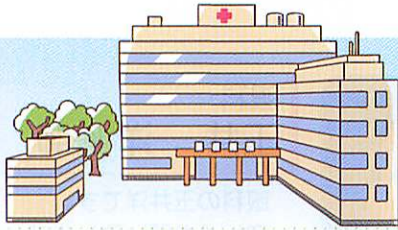
#### ◇集団栄養食事指導

糖尿病教室、心臓や血管となかよくするための減塩食教室（循環器科）、母親教室を行っています。糖尿病教室では、1クール8日間のなかに、集団栄養指導4回、主食の盛りつけ実習1回が盛り込まれています。



◇今は懐かしい3.11震災時の食事  
日清医療食品と病院栄養士が協力し、難渋しながらも主食と副食を1食もかかさず提供することができました。





# 新任医師紹介



消化器内科  
近藤 穰 医師

東北大学消化器内科より、4月から赴任いたしました近藤譲です。祖先はいわき出身です。  
よろしくお願い致します。



循環器内科  
瀬川 将人 医師

平成24年4月より、2年間共立病院に循環器内科医として勤務することとなりました。  
地元の医療に少しでも貢献できる様頑張っています。よろしくお願い致します。



整形外科  
大森 康司 医師

今年4月に赴任しました大森です。8年ぶりの再赴任となります。  
8年前と違って整形外科医も7人に減り、日々手術や急患対応に追われています。これまで学んできたことを生かしつつ、さらに精進したいと思えます。



整形外科  
千葉 仁志 医師

平成13年度、福島医大卒業の千葉仁志です。よろしくお願い致します。



整形外科  
今川 啓 医師

4月より赴任しました。愛媛県出身です。  
共立病院でスポーツ関節鏡外科の分野で腕を磨きたいと思っております。  
よろしくお願い致します。



形成外科  
川井 啓太 医師

筑波大から赴任いたしました。  
楽しく、建設的に仕事をしたいと思えます。  
宜しくお願い致します。



形成外科  
坂井 香 医師

平成24年4月から赴任しました。  
短い間ですが、一生懸命頑張ります。  
よろしくお願い致します。



脳神経外科  
柴原 一陽 医師

いわきの医療に貢献できる様がんばります。よろしくお願い致します。





脳神経外科  
庄司 拓大 医師

2012年4月から赴任しました。いわきへの赴任は希望でしたので、ここで働くことができ大変うれしく思っています。日々楽しく診療させていただいています。短い間になるとと思いますが、よろしく申し上げます。



眼科  
玉井 洋 医師

眼科の玉井洋です。  
宜しくお願い致します。



外科  
金子 直征 医師

いわきの医療に貢献できるように頑張ります。  
よろしく申し上げます。



小児科  
森谷 邦彦 医師

平成24年4月より赴任しました。  
いわきの医療に少しでも貢献できるよう頑張っていますのでよろしくお願いたします。



小児科  
鈴木 大 医師

いわきの子もたちとご家族のために頑張ります。  
よろしく申し上げます。



未熟児新生児科  
金井 祐二 医師

平成24年4月より再赴任となりました。  
2年ぶりのいわきですが、地域の皆様のお役に立てるよう頑張っていく所存です。  
宜しくお願い致します。



耳鼻咽喉科  
石井 亮 医師

2012年4月より赴任となりました。  
震災当時は宮城県石巻市で勤務しており、今回のいわきへの異動も何かの御縁かと思っています。いわきの医療を活気づかせる力の一つになればと思いますのでよろしくお願致します。



麻酔科  
助川 絵美 医師

平成24年4月より、麻酔科で研修をしています。  
私は歯科医師ですが、全身管理を学ぶため、医科研修をしています。  
地元いわきの地域医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願致します。







## 地域医療連携室です



下段左から 副看護師長 長谷川吉子・室長(医師)新谷 史明・看護技師 渡辺 敦子  
上段左から 事務員 猪狩 裕恵・鈴木 祐子・幕田 晶子

職員2名が定年退職となり、スタッフが変更になりました。新たな決意を持ち5名の新チームメンバーで日々仕事に取り組んでおります。

連携室利用による紹介患者数は年々増加しております。皆様のご理解・ご協力に心より感謝申し上げます。紹介患者予約・受診の準備の他に、連携室では、当日緊急受診対応、他病院の受診予約、情報提供、返信管理などの業務を行っております。安全で安心な医療を提供し、地域から信頼される病院を目指して、これからも、ご希望に応えられるような地域医療連携室にしていきたいと思っております。チーム力をアップし、一丸となってがんばってまいります。何かお気づきの点がございましたら、遠慮なくご連絡ください。

また当院へお越しの際には、連携室へお立ち寄り下さい。狭い部屋ではありますが、連携室スタッフ一同、心より歓迎いたします。

今後とも皆様からのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

### 地域医療連携室業務時間

月～金 8:30～17:15